



25 周年を迎えて期待すること

顧問 見勢井 誠

修 了生でグループをたちあげましょう！と、1996 年度に始まった第 1 期もりメイト養成講座が終盤を迎える頃、事業 P R のため広島テレビに共に出演した現理事長の山本恵由美さんから、「自分が事務担当をするから代表をして欲しい」と相談がありました。彼女は学生時代から様々な市民活動に関わり、多くの団体を立ち上げてきており、「森林整備の重要性を知ったからには活動を継続したい」という皆さんの思いを代弁して行動を起こしてくれました。

西 日本の異常渇水の記憶が新しく、森林への関心が高まる機運の中、この事業には約 180 名の応募があり、選考された 30 名の受講生はその分まで学んで身に付け、活かさなければという自負があったように思います。私自身も広島県森林インストラクターや自然観察指導員として何か活動を広げたいと思っていた矢先でしたから、善は急げということで修了生と指導者、関係者で結成会議を開きました。マスコミの取材も 2 社あり、『森林ボランティア もりメイト倶楽部 Hiroshima が立ち上がる』と大々的に掲載され、もう後には退けぬ覚悟へ。毎月第 4 日曜日に例会で集うことを決め、提供のあった白木町大橋の大橋神社裏山のフィールドで活動を始めことに。当初から今と変わらぬ多人数が参集し、技術の研鑽もしながら交流する例会は毎月の楽しみとなっていました。

特 筆すべきことは初年度から広島市市民参加の森づくり事業「みどりの体験ツアー」等に講師派遣が始まったこととです。将来に向けて外部からの様々な要望に応えられる人財育成を視野に入れて強化してきたことが、自治体や企業等の多くの受注を可能にした今につながっています。会員も着々と増えていった約 3 年後から「もっと活動日を増やしてほしい」等々の声に応え次々に部会を発足して、細分化しながら得意分野を掘り下げて行く展開へと成長していきました。現在の 6 月第 1 日曜日に開催される「ひろしま山の日」の契機は、2002 年 2 月東広島市で 3 日間開催された「第 7 回森林と市民を結ぶ全国の集い」。森林活動団体で結成した実行委員会の事務局長を任され、メンバーも運営や分科会の役員を担い、この時の大会決議によってこの年以来、広島県内の各市町で開催されています。

第 1 回目は東広島市の開催でしたが、当会は白木町で地域住民と一緒に活発に活動をしており、本来は自分達で整備した中世の山城「北田城址」での開催を主流にすべきと考え、舟入高校のブラスバンド部による吹奏楽や地域の方達による出店を開き盛大な祭りを行いました。新聞には東広島市と白木町のイベントが並んで同じように掲載され関係者はビックリした次第です。

さ らに独自の活動に留まらず、全国で 9 カ所に桜の植林を行う「MOTTAINI キッズ植林プロジェクト」の広島誘致。現在は認定 NPO 法人ひゅーるぼんの社会福祉施設のウッドデッキに間伐材を提供し、共同で制作。そのほかエコ祭り『環ッハッハ in よしじま』や宮島の鳥居の木材を地元で育てる『悠



1997/4/20 中国新聞朝刊にて



2006年度総会(白木町井原 北田城跡にて) 4月23日

久の森』プロジェクトに招聘されるなど、数えきれないほど実に多くの交流を積極的に構築していきました。

この倶楽部の特徴は、決して内向きにならないこと。先述したように大学時代から活発に活動している現山本理事長の顔の広さでアイデアやネットワークを屈指して、一地域だけに拘らず活動を通じて一緒に地域を盛り上げていくことに重点を置くスタンスが確立できたことです。広島市内だけでなく大竹市・呉市・廿日市市・福山市・三原市・三次市・山口市・下関市など広範囲にわたって、倶楽部の名声や啓発を広げることができました。



倶楽部創立4年目(白木町三田大椿共有林にて)2001年2月15日

気がつくと 25 年。継続できた理由は共通認識を持つ多くの仲間と共有する非日常の活動の面白さや爽快感。学びや感動、楽しさがあったからこそです。25 周年を迎えた今、今後益々、私たちの活動は重要度が上がるという認識の下、皆さん一人ひとりが本気で「つなぐ力」を発揮され、友人知人に倶楽部への理解を通して、環境保全、森づくりの大切さを未来へ伝えていく再チャレンジの年にしてもらいたいと心から願っています。